

# 霊符殿古墳(藤岡市)

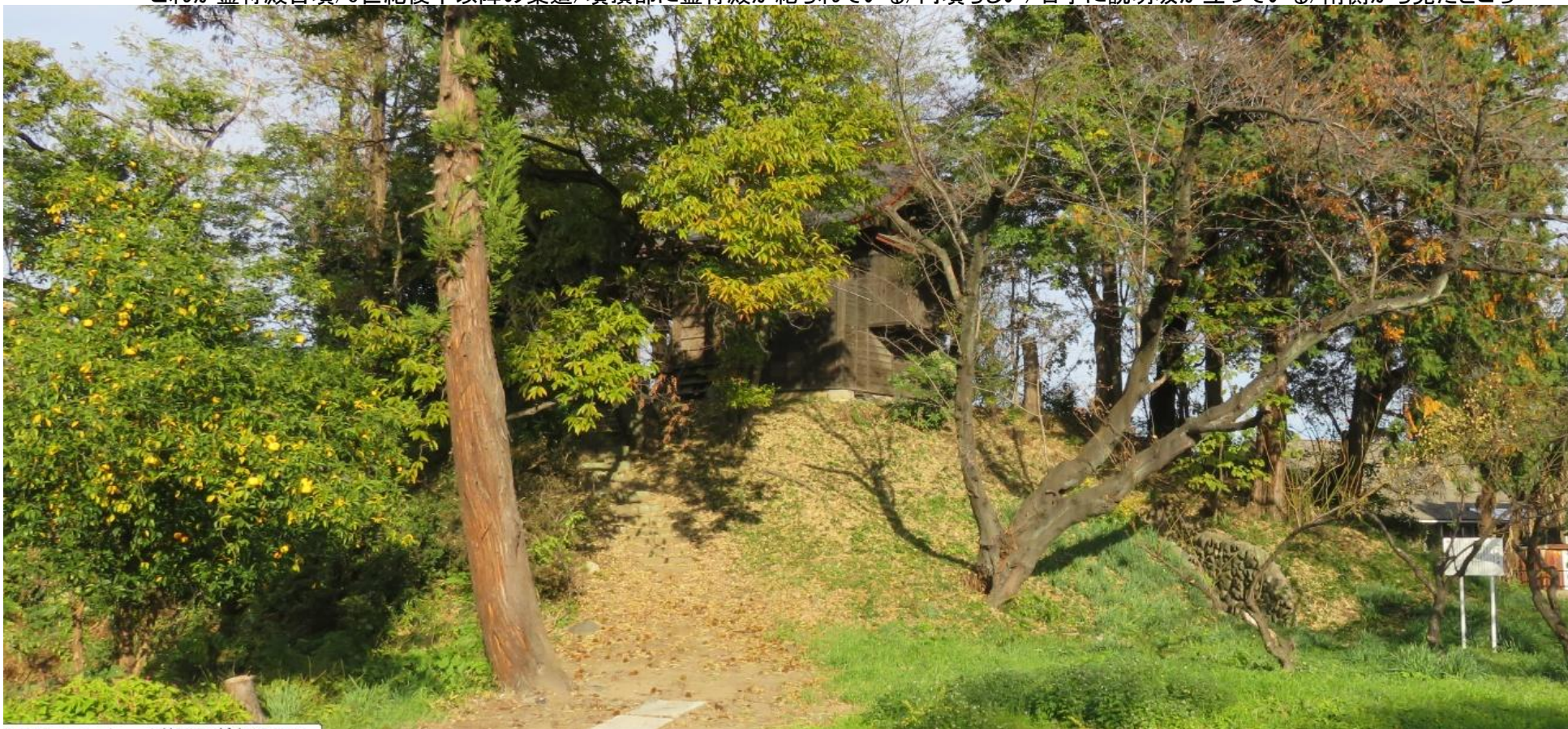
この天龍寺の境内付近に霊符殿古墳があるらしい



境内の東側に、「霊符殿古墳はこちら」という案内矢印が立っていた/前方のこんもりした木々の所が霊符殿古墳



これが霊符殿古墳/6世紀後半以降の築造/墳頂部に霊符殿が祀られている/円墳らしい/右手に説明坂が立っている/南側から見たところ



説明坂の左手には横穴式石室が開口している/更に前方には標柱が立っている



前方部を東に向ける前方後円墳(前方部消失)とも云われていたが？

# 霊符殿古墳

所在地 藤岡市藤岡四六一―八

所有者 天龍寺

この古墳は径三三メートル、高さ五・九メートルの大きさで、墳頂に霊符殿がまつられている。墳丘の西側は周溝の名残を留める窪地になっている。石室は南に開口する横穴式両袖型石室で、羨道、玄室せんどうからなり、楣石まゐしが設置されている。大きさは全長九・〇二メートル、玄室長四・九七メートルである。

石室の石積み方に特徴があり、珪岩質の転石を中心に細長い棒状の片岩をまわりに配した模様積みになっている。古くから石室が開口していたため副葬品は不明であるが、古墳時代終わり頃の六世紀後半以降に造られたものと考えられる。



藤岡市教育委員会

これが標柱/墳丘の東側はこのようにJR八高線により一部が削られてしまっている/この右手部分が前方部だったとのことだが？



そこから墳頂を見たところ/前方後円墳だったとしたら、こちらが後円部ということか？



その左手を見たところ





これが南面に開口する横穴式石室



鉄扉があり、中には入れないようだ



鉄扉の手前の石垣は、後世に築かれたものと云う



鉄扉越しに羨道を見たところ/珪岩質の転石と棒状の片岩を配した模様積みとなっている/前方の玄室入口袖の手前にアーチ状の擬似まぐさ石が設置されている



玄室を見たところ/奥壁も含めて羨道と同様の模様積みとなっており、平面形は羽子板状とのこと/両袖式の横穴式石室である



境頂の靈符殿を見たところ



左手の墳丘西側を見ると、周溝の名残を留める沼地が見て取れる



さて、反対側の北側に回ると霊符殿へ登る階段があった/手前に標柱も立っていた





これが霊符殿



左手を見たところ



右手を見たところ



背後を見たところ



参考ホームページ

[https://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f\\_bunkazai/reihudenkohun.html](https://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_bunkazai/reihudenkohun.html)

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-706.html>

<http://tigerdream-no.blog.jp/archives/8621170.html>

[https://blogs.yahoo.co.jp/npcsk058z/32746779.html?\\_yp=6ZyK56ym5q6%2F5Y%2Bk5aKz77yI6Jek5bKh5biC77yJ](https://blogs.yahoo.co.jp/npcsk058z/32746779.html?_yp=6ZyK56ym5q6%2F5Y%2Bk5aKz77yI6Jek5bKh5biC77yJ)

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/fujioka/reifuden.htm>

<http://blog.livedoor.jp/ncc74210/archives/52788305.html>

[https://mkawa.at.webry.info/201702/article\\_14.html](https://mkawa.at.webry.info/201702/article_14.html)

<http://kofuntokaare.main.jp/4goufun/page047.html>

